

有形文化財 絵画

市指定

あんどうひろちか えま やまぶしず
安藤広近の絵馬「山伏図」

■ 所在地：下新田1133
(市郷土博物館)

■ 所有者：袖ヶ浦市教育委員会



浮世絵師二代目安藤広近晩年の肉筆による大絵馬で、繊細な筆使いにより、山伏の姿が生き生きと描かれています。

安藤広近は、歌川豊広の数少ない弟子のひとりである、初代広近に絵を学びました。

二代目安藤広近は横浜を題材とした「横浜絵」や肉筆浮世絵で名を馳せ、万延元年（1860）「横浜岩亀楼全図」を出版し、明治になるとフェノロサや岡倉天心らの古美術調査に同伴、明治22年には東京美術学校に勤めました。この絵馬は当地に滞在した折に、求めに応じて描いたと伝わります。

横117.5cm、縦79.5cmの力作です。